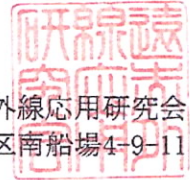


# 試験結果報告書

No.221S- 1118  
令和3年9月28日



遠赤外線応用研究会  
〒542-0081 大阪府中央区南船場4-9-11

試験項目 ストレス  
試料 (仮)ゼウス水  
測定機器 アミラーゼモニター<(株)ニプロ製>  
試験方法 健全な成年男性(51才)を被験者とし、使用前のストレス度を唾液により測定した。次に、(仮)ゼウス水を頭頂部に2回、首の後ろに2回噴霧し、30分経過後のストレス度を測定した。

## 試験結果

生体ストレス度測定値

|         | 使用前 | 使用30分後 | 低減値 |
|---------|-----|--------|-----|
| (仮)ゼウス水 | 45  | 38     | 7   |

(単位:KIU/L)

考察 生体の健康度を示す目安の一つであるストレス度は、(仮)ゼウス水噴霧30分後で7低減した。この要因が個人差によるものかどうかは分からないが、長期に渡って使用することでさらに低減される可能性が示唆された。尚、測定は各3回ずつ実施し、その平均値とした。ちなみに、学会でのストレス度の目安は次の通りである。

|       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 0~30  | KIU/L | ストレスなし |
| 31~45 | KIU/L | ややあり   |
| 46~60 | KIU/L | あり     |
| 61~   | KIU/L | 大いにあり  |

KIUのK=Kg、I=国際単位、U=ユニット

本報告書は供試材料及び試験状況下においてのものであり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

以上